



泉だより

IZUMI・DAYORI



2022.3.1 VOL.43

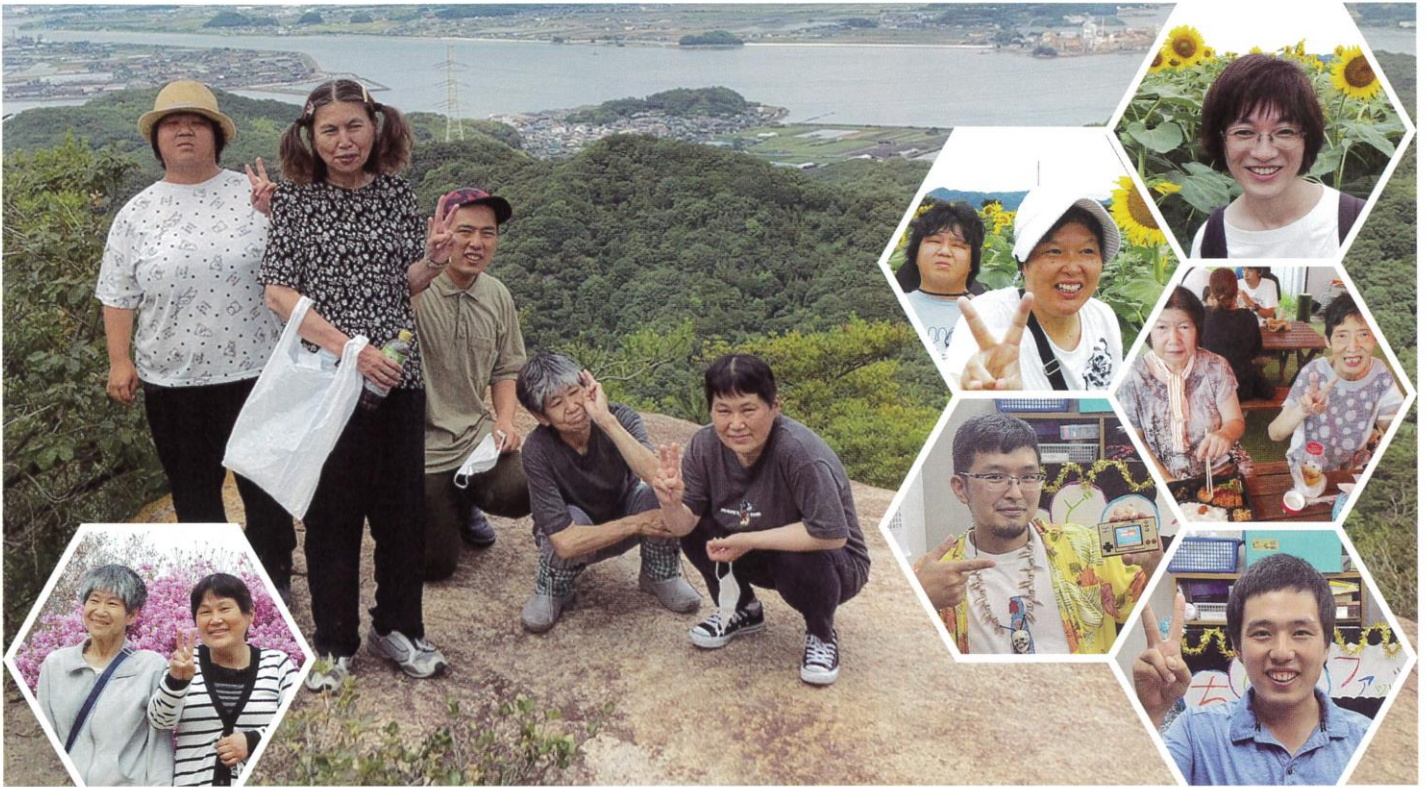
発行元



社会福祉法人 泉学園
Social welfare corporation IZUMIGAKUEN

〒702-8026 岡山市南区浦安本町190番地
TEL (086) 264-2882

発行人 岡崎 イツヨ



(巻頭言)

『ピンチをチャンスに!』

ワークショップちどり 管理者 西山 利充

ワークショップちどりは、今年度開設30周年を迎えました。ちどりは、障害児学級で教鞭をとっておられた谷川増雄氏が自宅隣に二戸建てを建設され、この場所で小規模作業所としてスタートしました。そこには、地域の中で社会の一員として安心と誇りを持って生活していける共生社会作りへの大きな一歩を展望しての歩みがありました。その歩みは、今も近隣施設との交流会や公民館や学校での紙漉き講習会、ボランティアの方による講座や作業やバザーの応援等となり現在も続いています。

そして、ちどりを利用されている皆さんにとって、年間を通して楽しみな行事があります。春は花見。初夏に行く牧場でのBBQ。秋は泊を伴う社会体験。宴会でのカラオケで何を歌うか1年前から決めておられる方がおられます。冬は地域の方も参加される餅つき。そして、毎年新しい曲で挑戦する手話歌の発表を通じて、他事業所と交流することも楽しみな行事の一つとなっています。

しかし、これらの繋がりや楽しみを一変させたのが2年前の新型コロナウイルスでした。感染予防の為、行事や活動、作業などあらゆる場面で行動の制限を余儀なくされ、これまでの日常が奪われたことで、ご利用者から明るい表情が減ってしまいました。

私自身、コロナ禍で明け暮れた2年間で気付いたこともあります。毎日センサーショナルに感染者数の増加のみを表面的に伝える情報に打つ手が無く、気持ちが沈むことがありました。他方、確かな根拠を複数示し、偏りが無いように丁寧に発せられる情報によって解決の糸口を見つけることが出来、励まし合えることが有りました。自分にとって都合の良い情報だけではなく、あらゆる情報を帰納的に得る中で、本質的な情報に近づくこと、情報の取り方の大切さに改めて気付かされました。今年「寅」年です。「寅」は決断力と才知の象徴とされています。しっかりとした情報が掴めてこそその判断ではないか。とも思うのです。

コロナだから全て中止、という判断をするのではなく、行き先を変更したり、規模を縮小したり、リモートを活用したり厳しい条件においても何が出来るか、どの様に関わったら良いのか。スタッフ全員で情報を持ち寄り、知恵を絞り、工夫を重ねる毎日です。

そして試行錯誤の中、利用者の皆さんの今まで見たことが無い反応や、笑顔に沢山出会えるようになりました。支援スタッフも共に喜び自信にも繋がっています。まさにピンチがチャンスに変わる日々です。

気になる人に聞いてみた CAFE つみ木



私事ですが、この4月から泉学園のキャリア10年目に突入します。そんな私と同時に泉学園のキャリアをスタートされた方々の現在について知りたいと思い、企画してみました。

今回伺ったのは岡山市南区福田、南ふれあいセンターの中にある「CAFE つみ木」。熊代店長と景山さんが飲食業界のリアルに直面しつつも荒波を乗り越えようとする様子が伝わってきました。

ちなみに今回、記事のボツやらコロナウイルスの蔓延やらでなかなか記事作りが難航しましたが、お陰様で入稿することができました。

協力して下さった方に感謝です。

とある金曜日の夕方、一週間の仕事を終えたスタッフさん（利用者さんという言葉はそぐわないのです）たちが後片付けをしながらひと休みされているところにお邪魔しました。スタッフさんが出してくれたお茶とお菓子のおすそ分けを頂いたりしながら、ふわっとトークを始めます。



● コロナの影響はどんなですか？

（熊代店長 以下「熊」）
まん防中は厳しいですね。あとその前も、10月11月は満席になることもちょいちょいあったけど。

（景山さん 以下「景」）
ほかのB型と違って、つみ木の売り上げから利用者さんの給料だけじゃなく、調理員さんの給料も出すんです。だから、責任感がある。

● 責任がありませんね。地域の人も「飲食店」と見ますしね。

熊 つみ木の管理者と言われることも多いんですよ（笑）※2人とも肩書は「デイセンターさくららの生活支援員」です。

熊 場所も離れているから、自分たちで解決をしないといけない。

景 責任重大ですね。

熊 ふれあい公社の中にいるし、来年度で3年目になるデイサービスの食事の契約書も泉学園として契約している。デイサービスの休みが違うからシフトも作るし。同じデイセンターさくららの職員ですが、いち経営者な気分です（笑）

● 話のこころ合いを見て、お茶のお代わりを持ってきてくれるスタッフさん（5年目くらい）の女性です。そんな彼女に、「つみ木で働いてみてどうですか？」と尋ねてみました。

スタッフさん つみ木は…そうですね。楽しく、お客さんとかかわりも増えてきたというか。一般の人も「お姉さんお姉さん」とみたいに声をかけてくれるお客さんや、優しく声をかけてくれる人もいます。プレゼントもらったりもする。

彼女は、ちょっと照れながら答えてくれました。彼女に限らず、よくお店に来てくださるお客さんから優しい言葉をかけてもらったり、応援してもらったり、時にはプレゼントをもらったりする…といった地域とのつながり。それ自体がふれあいセンターの中にお店としてある意味なのだろうなと思ってみたりしました。

● そして話は再度コロナの話に。経営の苦労話が続きます…。

熊 私が来てほしい3年ですが、「ひよっとしたらプラスも見えてくるのでは」という時に消費税が10%でぐんと来た。値上げをしたのもあって。

それまでは一日3万円後半とか当たり前にあってたんですよ。でも消費税10%が来て3万円、コロナが来て1万円台。緊急事態の時とか。年間で考えても売り上げが3割4割減になっている。

● コロナの状況は不透明、そんな中で、これからどうしていくか。

熊 外部に販売とか、配達とか行くことが増えました。あとふれあい公社の人にチラシを配ったりしたりして。そしたらワーツと来られたり。

熊 販路をつくっていくかといかないかと思っているんだけど、キャパオーバーになりそうな気もちょっとしてたり。

やはり、ベースとしての「つみ木」は尊重したい…

熊 今のご時世、配達に行った方が収益は上がります。毎日ひとり朝から弁当を詰めたらずーっと配達に行くってした方が、多分売り上げはいんですよ（笑）。そのために販路をふやしていったらいいけど。でも、ここ（つみ木）がどうにかならんと。まずはここに人が来てもらえる方法を考え

ないと。それが一番なんです。

つみ木の客足を戻す手立てをしつつ、また戻ってきたときに対応できる形を残しつつ、売り上げを伸ばしつつ、デイサービスの食事の提供をしつつ、休みも取りつつ…みたいなバランスの取り方に試行錯誤されている2人の姿が垣間見えました。よりよい形のお店作りはまだまだ続きますね。

インタビューを通して、職場の雰囲気がとても良いのが印象的でした。デイセンターさくらら内の異動で、生活介護、就労継続支援の様々な立場で働いてきた経験値のある職員さんだからこそ、スタッフさんが力を発揮できるよう働きかけながら、自分たちもやりがいを感じながら仕事をする事ができていくんだなという気もしました。また景山さんが普段から共有しているという「お客さんが喜ぶような商品作りをしよう」という言葉が印象的で、それが現在の雰囲気の良い形を作っている気もしました。



今回は紙面の都合で割愛しましたが、ひよんなぎっかけからつみ木に行くことになった2人。地域の中での「CAFE つみ木」の意味を尊重しながら、飲食店として、B型事業所としての生き残りに奮闘しているお2人の様子が伺えました。また機械があればぜひ、ステキなスタッフさんや温かい地域の人たちと一緒に空間で、日替わりランチを食べてみてくださいね！

（香川 正憲）

**なぜな
Xmasプレゼント!!**



イオンモール岡山さんの開店時に、福祉車両を寄贈頂いて以来、黄色いレシートキャンペーンやイベント等を通じてお世話になってます。

コロナ禍以前はクリスマス会に『イオンの国のサンタさん』として皆にプレゼントを手渡しして頂いていましたが、ここ2年はプレゼントを頂くのみになってしまいました。寂しさや申し訳なさを感じながら、皆の嬉しそうな顔を見ると本当にありがたいことだと思っています。

今年はお菓子に加え、タオルやマスクを頂き、皆嬉しそうに持ち帰っていました。コロナでなかなかキャンペーンにも参加できませんが、年度当初に頂くカードで楽器や用具等の活動物品、日用品等を揃えることができ、多くの皆様の善意の志に大変感謝しています。

いつも本当にありがとうございます。

(小林 三重子)

令和2年度共同募金配分の御礼



この度、ワークシヨップちどりでは、共同募金の配分交付を受け、車両整備をさせて頂きました。頂いた車輛は、ご利用者の送迎の他、施設外就労や行事での移動に大切に活用させて頂きます。ありがとうございます。

(西山 利充)

助成金の御礼 (泉の園)

一日社会体験旅行



今年度も公益信託梶谷福祉基金の助成金を頂き、11月18日から12月16日にかけて浦安西公園と岡山

市サウスビレッジに一日社会体験旅行へ行ってきました。昨年引き続き、コロナ禍での外出となり



少人数のグループで消毒や手洗い等の感染予防を徹底しながらの旅行となりました。どの日も天候に恵まれており、現地では豪華なお弁当を楽しんだり、気持ちの良い秋空の元を散策したりしました。新型コロナウイルスの感染者が増える中、大きな行事等は中止となり、利用者の皆様にとっては暗い話題が多くなる中、ホッと一息できるような楽しい時間を過ごす事ができていたように思われます。ご支援を賜りました関係者の皆様方、本当にありがとうございます。

(合田 正人)



新任職員の紹介



泉の園 生活支援員
たかた ゆりこ
高田 百合子
(R3 10月1日)

利用者の方の気持ちに寄り添える支援をしていきたいと思っています。



泉の園 生活支援員
にしかわ ちひろ
西川 千尋
(R3 12月1日)

これからも目の前の方との時間を大切にしていけたらと思います。



泉の園 生活支援員
はった ゆうへい
八田 裕平
(R4 1月1日)

至らない点が多いと思いますが、自分らしく元気に明るく頑張ります。



桑野フレンドリーハウス 生活支援員
よこやま るりこ
横山 るり子
(R3 9月1日)

穏やかに楽しく毎日を過ごして頂けるような支援を行なってまいります。



桑野フレンドリーハウス 生活支援員
ういじ
初治 亜紀
(R3 12月1日)

利用者様と一緒に楽しい一日一日を過ごせるように頑張ります。



デイセンターなすな 生活支援員
おたけもり けいいち
小竹森 桂一
(R3 8月16日)

優しく、丁寧な対応を心掛けます。



デイセンターなすな 生活支援員
ひとみ
人見 まゆみ
(R3 10月1日)

介護の仕事は初めてですが、一生懸命頑張ります。



いちばんぼし 看護師
ながや すみこ
永谷 須美子
(R3 9月15日)

利用者の皆さまと共に笑顔で過ごせるように努めます。



泉の園 生活支援員
いまだら みさき
今東 美菜
(R4 2月1日)

楽しみながらも日々勉強し、利用者の方々と共に過ごしていきたいです。



いちばんぼし 保育士
よこやま
横山 はるか
(R3 12月1日)

皆様が楽しく過ごせるように頑張ります。